

【良好】

①「数と式」の領域の問題がよくできています。

②「データの活用」の領域の問題がよくできています。

数と数式の乗法の計算や、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる問題。

累積度数を求める問題や、四分位範囲を求める問題。

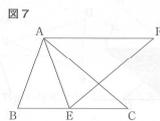
【課題】

- ①「図形」の領域で、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ること。
- ②「関数」の領域で、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

【対策】

- ・証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるようにします。
- ・表、式、グラフのどれをどのように用いたかについて数学的に説明できる活動を充実させます。

(2) 優奈さんは、前ページの方法2の直線BCと直線AFが平行になるかどうかを調べるために、次の図7をかきました。図7の△ABCと△AEFは、それぞれCA=CB、FA=FEで、△ABC=△AEFです。この図において、優奈さんはBC//AFであることを証明することにしました。

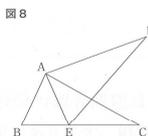


BC//AFであることを、次のように証明できます。

証明1

△ABC=△AEFより、合同な図形の対応する辺と角はそれぞれ等しいから、
 AB=AE ……①
 ∠ABC=∠AEF ……②
 △AEFにおいて、二等辺三角形の底角は等しいから、
 ∠EAF=∠AEF ……③
 ②、③より、
 ∠ABC=∠EAF ……④
 また、①より、△ABEは二等辺三角形である。
 二等辺三角形の底角は等しいから、
 ∠ABE=∠AEB ……⑤
 ∠ABE=∠ABCだから、①、⑤より、
 ∠EAF=∠AEB
 よって、錯角が等しいから、
 BC//AF

次に、優奈さんは、19ページの図4の2つの三角形を△ABC=△DEFであることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えました。この場合も方法2でひいた2つの直線が平行になるかどうかを確かめたところ、2つの直線は平行になりませんでした。なぜ平行にならなかったのかを調べるために、次の図8をかきました。図8の△ABCと△AEFは二等辺三角形ではなく、△ABC=△AEFです。



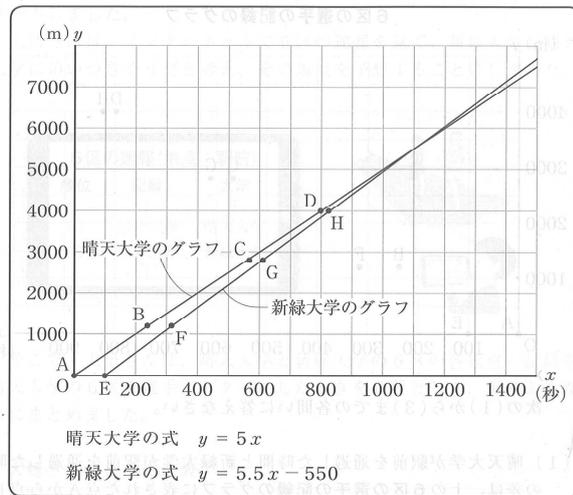
優奈さんは、図8でBC//AFとならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれが成り立たないからだと考えました。図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、∠EAF=∠AEBとならないため、BC//AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の が成り立たないから、 が成り立たない。よって、∠EAF=∠AEBとならないから、BC//AFとならない。

上の には証明1の①、②、③のどれか1つが、 には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。、 に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

(2) 大悟さんは、前ページの6区の選手の記録のグラフを見て、点Aから点Dまで、点Eから点Hまでの各点がそれぞれ一直線上にあると考えることにしました。そこで、コンピュータを使って、次のような2つの直線に表したところ、それぞれのxとyの関係を表す式は、晴天大学が $y = 5x$ 、新緑大学が $y = 5.5x - 550$ と表されました。

コンピュータを使って表された直線のグラフと式



(3) 新緑大学が晴天大学に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるのかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いておよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何mかを求める必要はありません。

ア 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフ

イ 晴天大学の式と新緑大学の式

↑
【課題】②の設問

← 【課題】①の設問

【良好】

① 日常的なことを話題とした会話を聞き、その場面、目的、状況を判断して必要な情報を聞き取ることができています。

② 対話が成り立つように時制を判断し、英語を適切な形に変えたり、必要な語を補ったりして、正確な英文を書くことができています。

イングリッシュキャンプで班のリーダーとしてバーベキューについての説明を聞く場面で、英語での説明を聞いた後に流れる質問の内容の答えとして適切なものを選ぶ問題。

夏休みの予定についての対話文を読み、時制を判断して動詞を現在形から未来形に書きかえる問題。

【課題】

- ① まとまりのある内容の英文を読んで、要点を捉えるのに、必要な情報を見つけて正確に読み取ること。
- ② 日常的な話題について、事実と自分の考えを整理してまとまりのある文章を書くこと。

【対策】

- ・ 既習・新出の単語や表現を用いて、身近なことや自分の考えを表現する活動をさらに増やし、基礎的な内容の理解を図ります。
- ・ 単語や文法など、理解したことを活用しながら英文を読んだり、自分の考えを順序立てて書いたりする活動をくり返し行います。

6 次の英文は、友達の子デビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Events on the Weekend

Date: April 13, 2023 18:45

From: David

Hello. How are you?
I'm excited to stay at your house this weekend.

I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

<p>1 Rugby Game</p> <p></p> <p>Let's watch together!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:30 a.m. - 11:30 a.m.</p> <p>Place Midori Park</p>	<p>2 Flower Market</p> <p></p> <p>You can buy beautiful flowers!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:00 a.m. - 4:00 p.m.</p> <p>Place Hikari Garden</p>
<p>3 City Orchestra</p> <p></p> <p>You can enjoy a wonderful performance!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 1:00 p.m. - 3:00 p.m.</p> <p>Place Tsubomi Hall</p>	<p>4 "Cook & Eat"</p> <p></p> <p>Let's enjoy cooking and eating!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 4:00 p.m. - 7:00 p.m.</p> <p>Place Cooking Room "Wakaba"</p>

← 【課題】①の設問

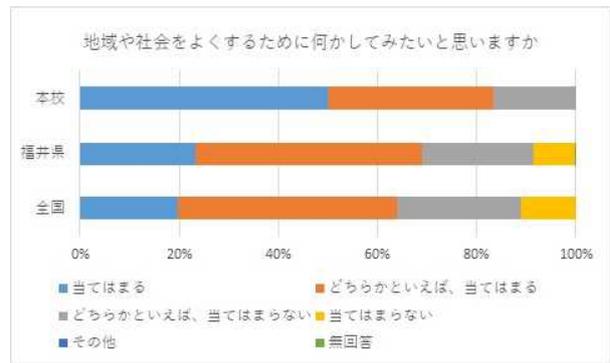
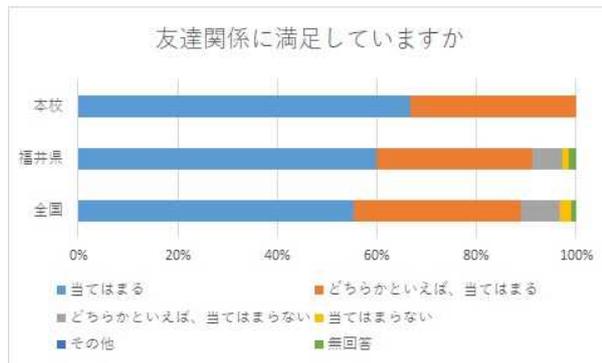
10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (, や ? など) は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

← 【課題】②の設問

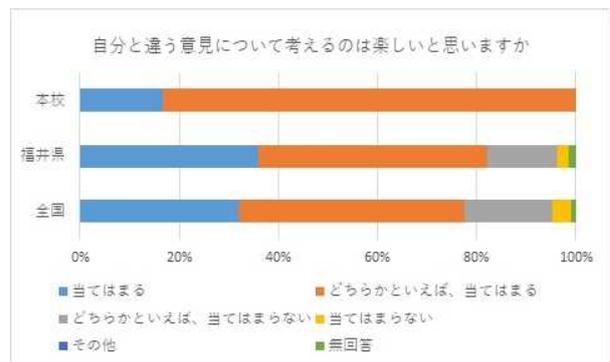
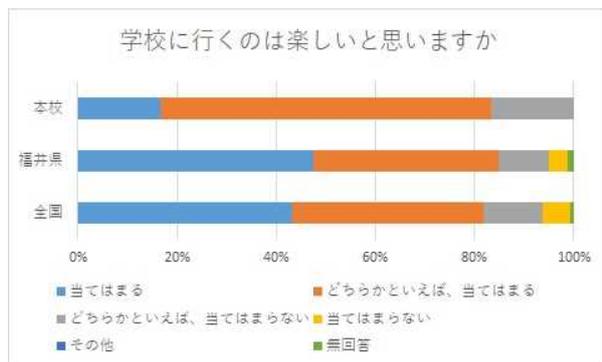
【良好】



全生徒が肯定的な回答をしています。小さなころから、家庭・地域で培われてきた人を温かく受け入れる心が育っており、また、毎日の学校生活の中で全員が協力して取り組む活動など、お互いの良さを認め合うことができる機会が多い本校の特徴がよく表れた結果となっています。

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合が県や全国に比べ高いです。みかん栽培に関する活動、浜清掃などのボランティア活動、祭りなどの地域の伝統行事への参加を通して、地域や社会を愛する心が培われています。

【課題】



質問項目「学校に行くのは楽しいと思いますか」では83.4%、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では100%肯定的な回答となっているものの、「当てはまる」と答えた生徒の割合が県や全国に比べ低いです。肯定的な回答の割合が高いことに満足せず、今以上に生徒が楽しいと感じることのできる学校を目指します。そのために、一人一人の思いに寄り添った授業づくりや、主体的な学びとなる場の設定、お互いの意見を比べ、考えを深めることの良さを体験する場を増やしていきます。また、行事等においても企画段階から子どもたち自身が関わることで達成感や所属感を味わっていただけるよう、これまでよりワンランク上の取組を実践していきます。

生徒質問紙では、ほとんどの質問項目で、県や全国と比較して、肯定的な回答の割合が高いという良好な結果が得られました。これからも、本校の良さを生かし、家庭・地域・学校の連携を大切にしながら、一人一人の生徒の健やかな成長のために学校全体で取り組んでいきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。